

2016-2017

## 第4回複合地区YCE委員長【ウェブ】連絡会議要録

◎日 時： 2017年5月8日(月)14:00-16:00

◎場 所： 各PCから接続

◎出席者：

330 複合地区YCE委員長	石尾 ひとみ (世話人)
331 複合地区YCE委員長	奥山 幸一
332 複合地区YCE委員長	小笠原 義見都
333 複合地区YCE委員長	金井 一夫
334 複合地区YCE委員長	山内 盾夫
335 複合地区YCE委員長	吉田 宏 (副世話人)
336 複合地区YCE委員長	橋本 充好
337 複合地区YCE委員長	吉田 勲

◎ 議 事：

会議に先立ち、接続確認を行った後、石川世話人からご挨拶があり。

### 1. 夏期交換

#### (A) 派遣生

##### (1) 最新派遣人数の確認

別紙1の通り確認された。

##### (2) 追加、取消、行き先変更、遅れ出発について

最新の変更を確認した。

##### (3) 各窓口からの出発前連絡事項

別紙2が確認された。

##### (4) リーダー・サブリーダーリスト

別紙3の通り最新リストを確認した。

#### (B) 来日生

##### (1) 来日生人数

最新の来日人数一覧(別紙4)が確認された。

##### MD4【MD330】:

現地窓口から来日生追加の要望があり。MD330 石尾委員長から各MDへ受入れを打診したが、現時点での受入追加は非常に困難との返答があり。

##### スロベニア【MD334】:

現地窓口から来日生追加(1名、男子)の要望があり。MD335から受入れについて検討する方向との返答があり。

オンタリオ〔MD335〕:

1名取消希望の一報があり、確認中。

インドネシア〔MD335〕:

MD330 受入れの1名の日程は追って決定の見込み。

台湾〔MD336〕:

来日生1名の追加があり、336-A地区で受入れを見込み確認中。

## (2) 来日生情報

最新情報は別紙5の通り。

## 2. YCE全体の申し送りについて

事前のアンケート結果を確認し意見交換した。以下の通り申し送る。

### <YCEの旅行契約について>

近年の派遣生の減少により、従来からの受注型企画旅行の設定が難しい地区も出てきている。MDの幹事旅行会社との契約が遅れることにより、YCEプログラムの実施や旅行代金の精算に支障を来す可能性があり。新年度のなるべく早期に各MDは旅行会社と契約内容を確認の上、契約することが望ましい。

### <派遣生へのオリエンテーション>

出発前のオリエンテーションで、問題発生又は緊急時用連絡網及び連絡方法説明を更に徹底することが望まれる。派遣生は、トラブル時に先ず家族や友人に連絡し心配をかけるのではなく、必要な手順を守ることが大切である。

### <YCE生の海外旅行傷害保険について>

来日生について、日本の担当窓口から現地窓口へ事前の海外旅行傷害保険加入確認を今後も強く呼びかけるべきである。近年来日生の加入保険の不備から、来日後に病気やけがなどの際支障を来したことがあり。別途日本で保険加入してもらおうなどする地区もあり、受入れを行う地区は事前に対策を話し合っておくことが望ましい。日本からの派遣生についても事前の保険加入及び確認を徹底する。

### <2017-2018 年度ヨーロッパ派遣青少年の海外旅行保険書類提出について>

オーストリア、スイス: 派遣日程が確定次第、加入手続きを始め、ヨーロッパ電子フォーム(EAF)に保険会社名と書類番号を記入し、健康調査票等と同様、証書コピー\*も窓口への提出書類に加える。

その他ヨーロッパ各国: 5月末日迄に証書コピー\*を窓口へ送付する。

\* 証書コピーには、英文で保険会社名、連絡先、被保険者名、補償内容の記載されている必要がある。

## **<アレルギー>**

近年アレルギー症状のあるYCE生が非常に多くなっている。稀なものや重度のもの、多種類を持っているなど交換が難しい場合もあり、種類や程度を事前に確認する。薬を必要とする場合は必ず持参してもらう。

## **<次年度会議について>**

近年ウェブ会議開催は、時間と経費の削減につながり、次年度も開催が望まれる。また、派遣来日の様々なトラブル解決には、YCE委員長間のコミュニケーションが大切であるため、集合会議も(年2回程度)開催が望ましい。

## **<次年度の用品について>**

### **IDカードほか**

国際情勢に鑑み空港等での本人確認のため、YCE派遣生は今後もIDカードを携行してプログラム参加すべきである。カード類はPC用テンプレートをプリントアウト、活用する等が望ましい。

### **派遣生ユニフォームエンブレムデザイン**

次年度も現デザイン継続が望ましい。

以上